高屋西小学校区住民自治協議会 平成26年度東広島市市民協働のまちづくり活動応援補助金事業中間報告



第1回目 11月22日(土曜日)

目的地 庄原市内 山内自治振興センター・川北自治振興センター

県北大災害(庄原市)の復興事業の現地視察と災害時の共助・自助(福祉ネットワーク)の先進地である両センターを視察し、地域防災及び防犯等の早期組織化を目指す。現在36名の申込みを受け、準備中である。

第2回目 2月中旬

目的地 広島市西区鈴峯公民館他の予定

官民が一体となった講座開設と企画運営をしている同公民館を視察し、地域住民主導によるセンターの活用策(地域協働事業)を模索し、地域が求める事業展開を図る予定であったが、当地域の現状を鑑み、地域と若年層が求めている 30歳から60歳までの子育て世代が求める企画(講座・教室)とその実施方策を主眼としての研修を実施したく現在企画検討中である。

活動実績

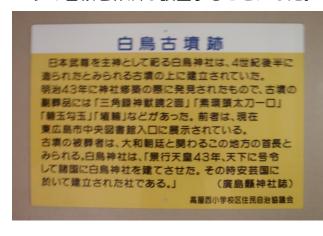
実施検討会議 4回 実施検討委員会 1回 自治協三役会 2回 全体会 1回

元気な西高屋

平成24年度の主催講座として実施した大人の遠足(西高屋地区一円の史跡等) にて歩いた個々の場所がわかりにくかったこと、歴史的な背景や謂れ等記述した看板がなかったことが判明し、地域住民を始め多くの人達に歴史的にも価値のある史跡と西高屋の発展に寄与された人物を後世に受け継ぐことが重要であると考えたことがこの企画のきっかけとなった。

活動内容

史跡及び人物の歴史的な貢献度を明確に記述した、 縦60センチ横70センチの看板を作成し設置することにした。



白鳥神社下馬石の石碑 白鳥神社に参詣する人たちは、ここまで 来て馬を下りた。そしてここから約100m 下の標柱(注連柱)に向かい、参道を 登っていったのである。 乗馬を許されていた人は限られていた。 神聖な神の山を崇敬しながら、 一歩一歩登っていったことであろう。

高屋西小学校区住民自治協議会

古くからの云われ伝わる史跡及び石碑について内容の確認作業と調査、また、 案内看板の設置場所協議(地権者の承諾)と記述内容(文字数と解読と漢字の 読み方と意味)の文書化に時間を要しており、現在、看板の発注段階である。 今後活動のきっかけで作り上げた「ふるさと西高屋を歩く」冊子を広く周知す ると共に、観光案内所と西高屋駅に史跡等の案内看板の設置を考えたい。

活動実績

活動実績会義実施 6回 文献調査 8月9月 看板内容の検討 3回 看板作製依頼 10月16日・23日 完成予定 平成27年1月下旬

